

# 「大規模集積研究システム形成先導プログラム」の公募・選定に向けて

- 自動化・自律化・遠隔化された高度な研究環境と多様な人材が共生する開かれた拠点を構築し、新しい時代の共同利用システムとして我が国の研究手法の変革を先導する計画を公募

## < 1. 対象とする機関 >

- 中核機関は、大学共同利用機関、国公私立大学の共同利用・共同研究拠点  
上記以外の機関も、連携機関、協力機関として参画可

## < 2. 対象とする構想及びその要件 >

- 先行する取組や関連施策との連携のうえ、以下を実施
  - ① オートメーション/クラウドラボの構築・運営
    - 自動・自律化・遠隔化による高度で開かれた研究環境を構築
  - ② 研究データの創出・活用基盤の構築・運営
    - 産出される研究データをAI4Sに最大限活用できるよう、研究データ基盤の整備とデータの活用を促進
  - ③ 人材育成
    - 拠点を資源として、新たな科学研究の姿を牽引できる人材を育成

## < 3. 採択予定件数、事業期間 >

- 1件、4年間（～令和11年度まで）

## < 4. スケジュール（予定） >

3月19日～4月27日	公募期間
4月下旬～5月中旬	書面審査期間
5月下旬	審査結果公表

# 大規模集積研究システム形成先導プログラム

## <大規模オートメーション/クラウドラボの形成>

令和8年度予算額

1.6億円

(新規)



文部科学省

令和7年度補正予算額

42億円

### 背景・課題

#### 研究の大型化・高度化への対応

- 研究手法は大型化・高度化し、**多様かつ高度な解析が求められる**状況。
- 我が国には、トップ層の大学以外にも**全国各地に広く、意欲・能力がある研究者が所属**。これらの研究者が、上記の状況においても、**能力を最大限発揮できる環境の構築**が重要。

### 事業内容

#### AI for Scienceの推進

- 世界的に**AI for Scienceによる科学研究の革新が進展**
- AI for Scienceの推進には、**より多くの研究者がAIを活用した研究環境を利用**でき、**データ収集、解析の標準化も含め高品質かつ大量のデータを継続的に生み出すシステムが必要不可欠**。

### 我が国が有する強みを活かした、オートメーション/クラウドラボの形成により、AI時代にふさわしい研究システム改革を先導

支援対象 1拠点（大学共同利用機関及び共同利用・共同研究拠点）

支援期間

4年間  
(R8~R11年度)

- 研究設備の自動化・自律化・遠隔化による、**大規模なオートメーション/クラウドラボを形成**。研究設備からのデータ収集、解析の標準化も促進。
- 高度な研究支援・コンサルテーションと一体的な**新たな共同利用サービスを提供**。研究成果創出に求められる多様な課題にワンストップ・シームレスに対応。
- 地方含め所属大学を問わず、意欲・能力ある研究者誰もが**時間・空間を超えて高度な研究環境にアクセス**し、多様なアイデアから**AI for Scienceの推進にとって重要な資源となる高品質なデータを大量に生成**。

#### 成果、事業を実施して、期待される効果

- ・ **研究生産性の向上**（実験スピード、発表論文数の向上等）
- ・ AI駆動型研究に不可欠な**研究データ創出・活用**の高効率化
- ・ 新しい科学研究の姿を牽引出来る人材の育成、理化学機器産業やロボット産業との協働、優秀な海外研究者のゲートウェイとなり国際頭脳循環を促進

